



あかまつ

令和4年度

第63号

令和5年2月24日

《学校教育目標》 夢に向かって 本気で チャレンジ! 笑顔の花さく 南っ子

倉田政嗣没後90年記念ノートをいただきました

21日(火)に「ふるさと太田の偉人を顕彰する会」の会長様、太田支所長様、公民館長様が来校してくださり、子どもたち全員と職員全員にと「倉田政嗣没後90年記念ノート」(A5版)を贈呈していただきました。

県民歌の作詞・作曲は倉田政嗣・成田為三。本校の校歌もこのコンビであり、県内唯一の校歌です。いただいたノートにも掲載されていますが、県民歌制定と同じ1930年(昭和5年)に母校である横沢小(本校の前身)の校歌を作詞したようです。県民歌を機に成田為三との友情が深まり、再び作品を仕上げたのかもしれませんが。[燦爛と][雄々しく][雪月花][朔風吼ゆる]…小学校の校歌とは思えないほど格調高い言葉が並ぶ本校の校歌。県民歌も校歌もふるさとへの思いの深さが伝わってきます。貴重なものをいただきました。ありがとうございました。



今年度の卒業式におけるマスクの取扱い等について

今年度の卒業式の子どもたちや保護者の皆様のマスクの取り扱いに関する基本的な考え方についてお知らせします。

報道にもありますように、文科省から、卒業式は児童生徒が厳粛で清新な気分を味わい、学校生活を振り返るとともに、新しい生活の展開への動機付けの機会ともなる有意義な教育活動であることから、「児童生徒および教職員は、式典全体を通じてマスクを着用せずに出席することを基本とする」等の内容の通知が出されました。

大仙市教育委員会からも配慮事項として、「活動場面に応じて一定の感染症対策を講じること」「卒業式の実施方法(出席者、マスクの着脱、式の持ち方等)については、各地域の感染状況を踏まえて判断すること」と指示されておりますので、南小としましては、在校生を1年生から参列させたこと(令和元年は在校生は参列せず。令和2年度・令和3年度は4年生以上の参列。)や体育館の広さ等を考え、次のようにさせていただきたくお願いいたします。

- 卒業生は、式場ではマスクを外すことを基本とする。
- 在校生も、式場ではマスクを外すことを基本とするが、場面によっては着用する。
- 来賓や保護者の皆様にマスクの着用をお願いする。
(卒業生と保護者の皆様の卒業記念撮影の際は、外していただいて結構です。)



卒業生につきましては、座る場所の間隔がとれていることや、入退場・卒業証書授与時・呼びかけの場所等は、周囲との距離が確保できることから、マスク無しを基本としたいと思います。

在校生は無言の場面ではマスク無しを基本といたしますが、呼びかけや校歌斉唱の際にはマスクを着用させたいと思います。在校生側の1人あたりの体育館の広さからもそのように判断させていただきました。来賓や保護者の皆様におかれましても、どうかマスクの着用をお願いいたします。

この他、次のような感染症対策を取りますのでご承知おきください。

- 効果的な換気の実施
- 来校時の手指消毒

また、配慮することとして、基礎疾患があるなどさまざまな事情で感染不安を抱き、マスクの着用を希望する児童に対してマスクの着用の有無による差別・偏見等がないよう適切に指導してまいります。

新型コロナやインフルエンザの感染状況によってまた変更があったときにはお知らせいたします。保護者の皆様におかれましては、卒業式の円滑な実施に向けて、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

3年の時を経て、全校で、式場で、お祝いできる日までもうすぐです。